

本住寺便り

〜平成二十四年芳春特別号〜



健やかなる新春を迎えられた皆さま方には、菩提寺・こぢよつこでら本住寺に変わらぬご芳情を賜りますこと、篤く御礼申し上げます。

昨年は、三月十一日の東日本大震災と福島原発事故が苦難の始まりで、台風などの自然災害も多発しました。お寺から見える小田川もあれほど増水したのは何年ぶりでしょう。

また、世界や日本の政治経済も含め、お金の価値基準や人々の意識も変わり始め、世の中全体が目まぐるしく変動しているようで、社会システムや思想に改革を求める気運が高まり、今までにないことがあらゆる面で起き出しています。

日々、激動の渦の中に巻き込まれつつあるかのような今年、平成二十四年（二〇二二）六白金星中宮壬辰年は、意識を高めて「天」からのサポートを受けられるように、日常にまみれているエゴやしがらみを竜巻の如き回転ですつきりと振り落とし、世の中の変化に対応できるように余裕を持って準備しておくことが求められるでしょう。

それには、やはり個々の意識の持ち方次第ということになります。こういう時代だからこそ、未来への夢を思い描き、その夢を叶えるために必要なこと、今為すべきことを整理して、早め早めに手を打っていくことが大切なのです。

未来とは、過去となる今現在の積み重ねの先にあるのですから、大事なことは今ここに心を集めて、自分に足りないものを見るのではなく、陰日向となつて自分を支え助けてくれる存在がいること、たとえば神仏のお陰をいただけることなど、今あるものに感謝しながら精一杯生きていくことです。

人生をはつらつと豊かに輝かすことが難しいこの時代、笑顔で生きていない人があまりにも多いようですが、自分の人生を人任せにしてしまうとふらつきます。

個々の考え方や価値観は長年の人生で刷り込まれてきたものです。あせらないでいいので少しずつ固定観念を取り除き、思い込みという心のブレーキを外して、楽しく愉快に人生を堪能できるようにしましょう。

それには「前向きになれるポジティブ言葉（ありがたう・うれしい・楽しい・おもしろい・美味しい・充実している・努力します・やってみよう・素晴らしい・できる・頑張ります・利口だ・美しい・きれいだ・すばい・たのしい・最高・元気だ・幸せです・喜んで・大丈夫・まだ若い・イケル！など）」積極語を意識して使っていくことです。

私たちの潜在意識は肯定も否定も言葉を区別しないそうなので、こうなればいいという言葉をどんどん使うことです。普段から自分が使っている言葉が潜在意識に刷り込まれていきますので、考え方を変えるよりも、言葉を変える方が手っ取り早いのです。

思いやりのある優しい言葉、周りの皆を幸せにするような言葉を意識して使うようにすれば、慈しみ、いたわり、安心感に満ちた地域や社会ができるはずですよ。

言葉によって世の中は変えていくことができます。被災地を含め理想的な世の中を一刻も早く築き上げるためにも、自分が今発している言葉をちよつと振り返ってみませんか。

* 本住寺 年間行事のお知らせ *

- 一月 五日〜九日 新春開運祈禱
二十九日 信行唱題会
- 二月 三日 節分
二十六日 信行唱題会
- 三月 四日 こぢよつこでらいぶ VOL.12
二十日 春のお彼岸 十時〜
- 四月 三日 開山大覚大僧正妙実上人ご命日
四日 春の妙見さま 十八時〜 (遠田講中)
- 五月 二十八日 花まつり〜釈尊降誕会〜 十時三十分〜
信行唱題会
- 六月 こぢよつこでらいぶ VOL.13
信行唱題会
- 七月 十日〜十五日 お盆のお経まいり
信行唱題会
- 八月 二十二日 秋のお彼岸 十四時〜
二十九日 秋の妙見さま 十八時〜 (遠田講中)
- 九月 こぢよつこでらいぶ VOL.14
信行唱題会
- 十月 二十五日 御会式 十八時三十分〜
信行唱題会
- 十一月 こぢよつこでらいぶ VOL.15
信行唱題会
- 十二月



妙見山 本住寺

倉敷市真備町服部一五八七

〇八六(六九八)九七七〇

ホームページ <http://www.honjuzi.com/>